

みたか国際化円卓会議第 11 期 第 5 回会議録要旨

日 時	令和 3 年 3 月 25 日（木） 18：30～20：00
会 場	三鷹市教育センター 3 階 大研修室
出席者	委員 10 名（欠席委員 3 名）、事務局：企画経営課長他 4 名、傍聴：0 名

【当日配布資料】

- （資料 1）みたか国際化円卓会議第 11 期報告（案）
- （資料 2）みたか国際化円卓会議第 11 期各回会議録（第 1 回～第 4 回）
- （資料 3）ワークショップまとめ（第 1 回・第 2 回）

【記号について】

・	委員の発言
→	事務局の発言

【議事内容】

1 開会のあいさつ

2 第 11 期のまとめについて

事務局より第 11 期報告案について説明した。

→市では令和 3 年度から、「多文化共生センター（仮称）」（以下「センター」という。）の取り組みと並行して、人権の尊重を進めるための新しい条例の制定を検討している。今後の円卓会議でも人権について検討していきたいと考えており、第 12 期の取り組みを見据えてご意見をいただきたい。

- ・「交流」「理解」「支援」に加え、新しいキーワードの「環境」「デジタル化」については、まとめ方を工夫してほしい。

→対応する。

- ・センターの運営主体は？MISHOP とのかかわり方は？

→運営主体は、現時点では定まっていない。MISHOP はセンターに吸収するが、ジェンダーやマイノリティなど、これまでより範囲を広げて多文化の概念を盛り込んだ施設としていきたい。

- ・「デジタル化」については、例えば駅前に QR コードを活用した案内などがあると、外国人にとって非常に助かる。

→在住者も来訪者も情報を得やすくする工夫の事例として、報告書の中で QR コードについても触れたい。

- ・センターに行かなくても、自宅からさまざまな情報が得られるようにしてはどうか。

→センターの機能として、情報発信にとどまらず、オンラインでのコミュニケーションについても提言に盛り込みたい。

- ・「デジタル化」に関連して、バーチャル空間でのコミュニケーション、多言語の自動翻訳機能も将来的に実現できたら面白い。

→提言に盛り込む。今回の提言では「デジタル化」について少し強めに打ち出したい。

- ・「環境」について、持続可能な発展など自然環境保護に対する意識を子どもや市民に持ってもらいたい。

→提言案では、施設の居心地の良さの意味での「環境」に触れているが、「自然環境」に関する学習機能や情報発信機能についても多文化共生をベースにしたうえで考えてみたい。

- ・「デジタル化」について、コロナ禍を機にオンラインやリモートといったデジタル技術に触れることが日常化した。今後もデジタル化が進むと思う。

- ・センターの機能として、「環境」「デジタル化」については、情報発信や取り組み方などを具体的に表現してほしい。
- 「環境」について、センターについて具体的に「こんな施設だったら」という意見があれば発言してほしい。
- ・第1回目のワークショップで「環境」について意見が出たと思うので、盛り込んでほしい。
- センターの「施設環境」について、提言で具体的な内容としたいので意見があれば発言してほしい。
- 「自然環境」に関することについての情報発信を多言語で行っていくなど、多文化共生と「自然環境」を結び付けて取り組みのアイデアがあれば出していただきたい。
- ・例えば「自然環境」での国際比較は、小中学生にとって勉強になるのでは。
- 「自然環境」について世界各国の取り組み、環境先進国の事例紹介の発信などをセンターで取り組んでいくのも一つのアイデアである。
- ・時間があったら入ってみようと思える施設の魅力があるといい。例えばおしゃれなカフェ、世界各国のビールが飲めるなど。
- 「環境」の言葉にも2つの捉え方があり、施設としての魅力のある「環境」と、「自然環境」を多文化共生の視点から発信していく機能、この2つを提言の中で書き分けたいと思うがいかがか。
- ・「自然環境」について、三鷹市の環境への取り組みを示したり、三鷹が住みやすい街だと思える取り組みが盛り込まれるといい。
- 市や市民の皆さんの環境意識や、三鷹市が今どう取り組んでいるのかということも、多文化の共生を目的としたセンターとして発信していくことは重要。
- いわゆる「環境問題」と施設の利用のしやすさという「環境」を使い分けて、分類し整理したい。
- ・三鷹の自然環境はとても良いので、それをイメージして、センターの室内は開放されたガーデンを作ったり、四季の景色が楽しめる樹木を植えたり、自然のきれいさを体験できるといいのでは。
- 駅前再開発は「100年の森」というコンセプトであり、緑豊かな施設にし、その中にセンターが入るというイメージなので、ご意見とコンセプトが一致している。提言の最後の「まとめ」のなかで、センターのコンセプトを盛り込みたい。
- ・円卓会議の委員はそれぞれ、出身国もバックグラウンドも異なるが、みな三鷹が好きという思いがあるので、提言でもその点を表現してほしい。
- ・多文化共生の取り組み方として、地域のコミュニティとコミットしていったほうが良い。住民協議会の活動には外国籍市民はほとんど参加していない。草の根の交流ができると良い。
- センターが集まるための場所だけでなく、情報発信の拠点となって、市全体に声が伝わるようにしないとイケない。住民協議会との協働は大切。例えば、災害時に支援に関する情報をセンターが発信していくことが期待される。提言の「(3) 支援」の最後、緊急時にサポートできる機能だけでなく、情報発信の機能、さらに住民協議会などとの協働・連携について盛り込みたい。
- ・第12期に向けて取り組みたいことはあるか。
- センターについて、毎回テーマ設定して話し合ったり、人権に焦点を当てて話し合っていくのもよいのではないか。市からお願いするテーマは現時点ではない。
- ・「環境」「デジタル化」を具体的に話し合いたい。
- 三鷹市に暮らす個人に焦点をあて、支援や交流の在り方を考える会があるとよい。

3 その他

提言の内容を修正し、改めて委員全員に確認したうえで確定することとした。

任期满了につき、引き続き、第12期も継続できる委員を確認した。

- ・委員に大学生を入れることは可能か。

→公募委員に制限はない。パネラーとして招く方法もある。

以上